

9. サイン計画

9-1. 基本的な考え方

1 わかりやすさ

必要な情報を整理し、適切な場所に適切な機能のサインを設置することで誰にとってもわかりやすい計画とします。ピクトグラムは、ISO（国際標準化機構）規格をベースとした、視覚的で直感的に伝わりやすいものとします。また書体は、見やすく読みやすい「ヒラギノ UD 角ゴシック」等を用います。さらに、記載する言語は、外構部を4カ国、建物内部を2カ国併記し、サインを構成する要素にも十分配慮します。

2 たどりつきやすさ

「地下鉄勾当台公園駅」、「勾当台公園地下駐車場」、「庁舎間連絡通路」と接続することで利便性が大きく向上します。スムーズな移動ができるよう、来庁者の利用目的や、バス・地下鉄・車・自転車などの様々なアクセス方法を考慮した最適な案内・誘導計画とします。

3 管理しやすさ

歩行者の回遊性を促したり、賑わいの演出として機能するだけでなく、さまざまな利用シーンに柔軟に対応できる、フレキシブルなサインデザインとします。庁舎内では、組織改正による課名の変更や執務室の移動にも対応可能なデザイン・仕様とし、全体を通して『持続可能性』を意識し、環境に配慮した素材・製品の積極的な利用を行います。

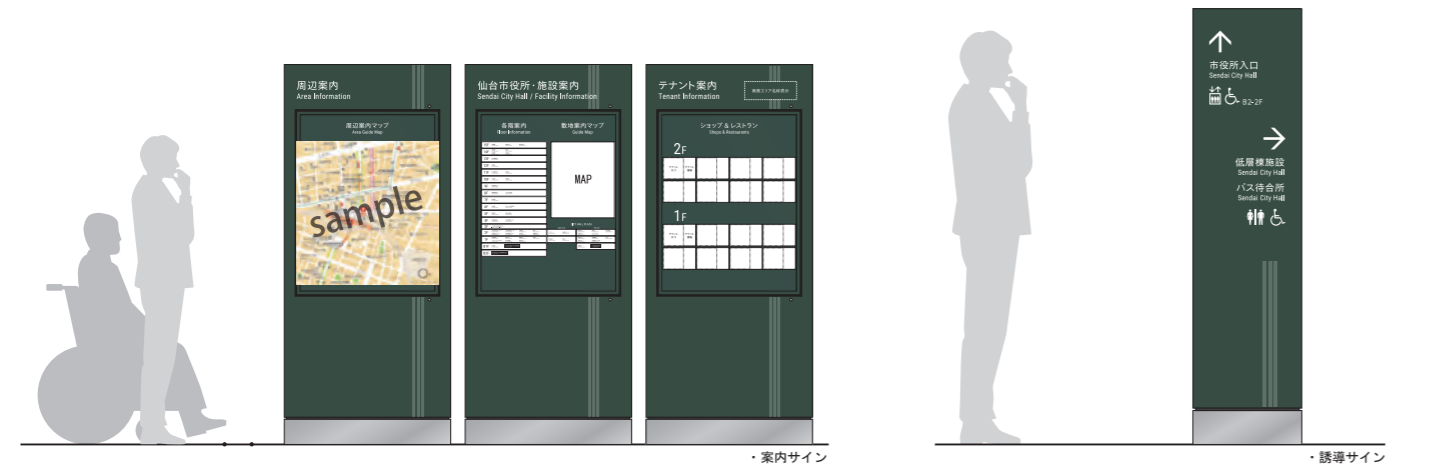
9-2. 屋外サイン

● 案内サイン

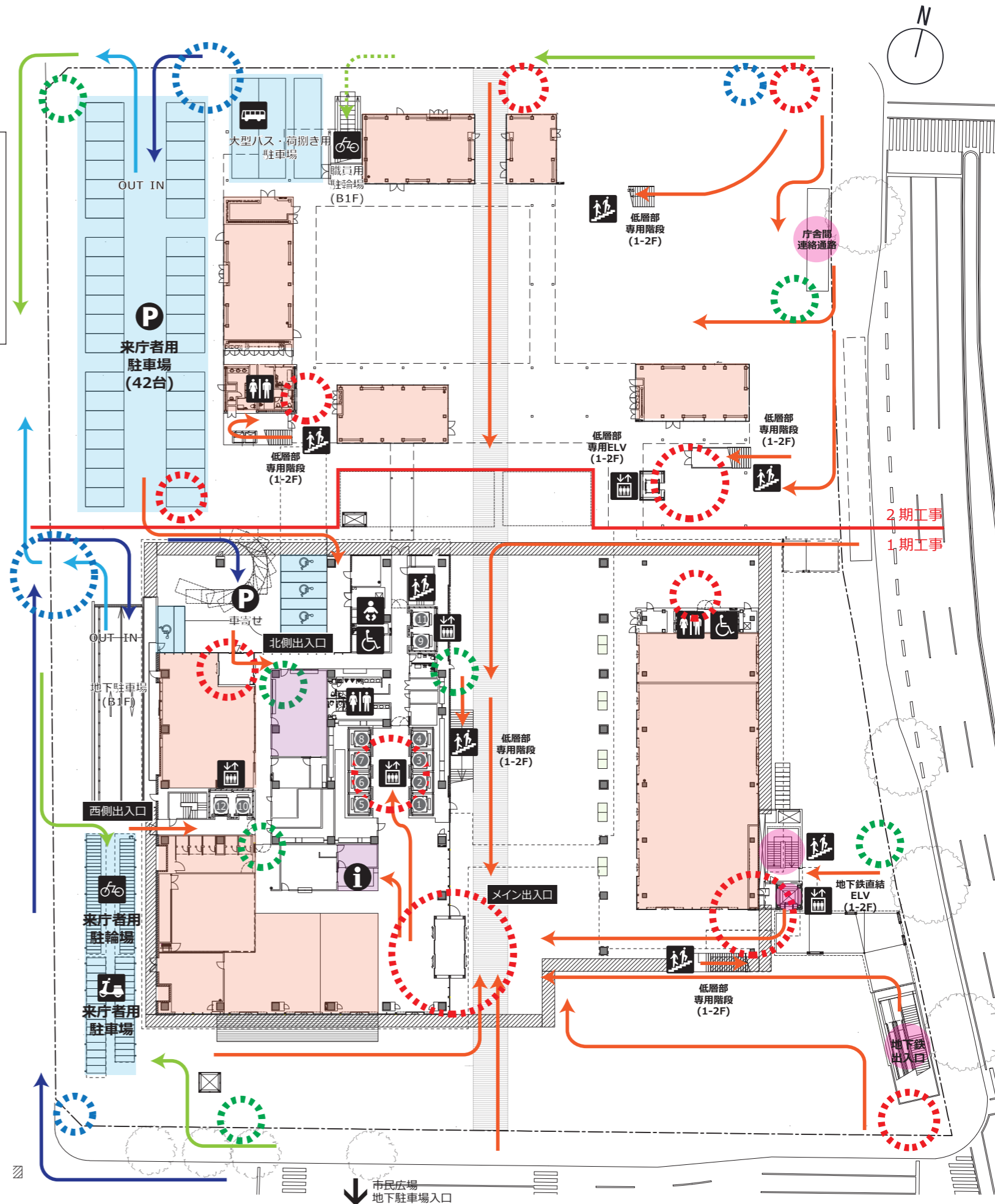
移動の起点となる出入口や駐車場、EV ホールや階段前などに設置します。

● 誘導サイン

通路の曲がり角などに設置し、目的地への誘導を助けます。



凡例					
	: 歩行者に対する案内		: 車両 IN 動線		: 地下連絡出入口
	: 車に対する誘導		: 車両 OUT 動線		: 市民利用エリア
	: 歩行者 / 自転車に対する誘導		: 自転車動線		: 行政エリア
			: 自転車動線(関係者)		: 駐車・駐輪エリア
			: 歩行者動線		

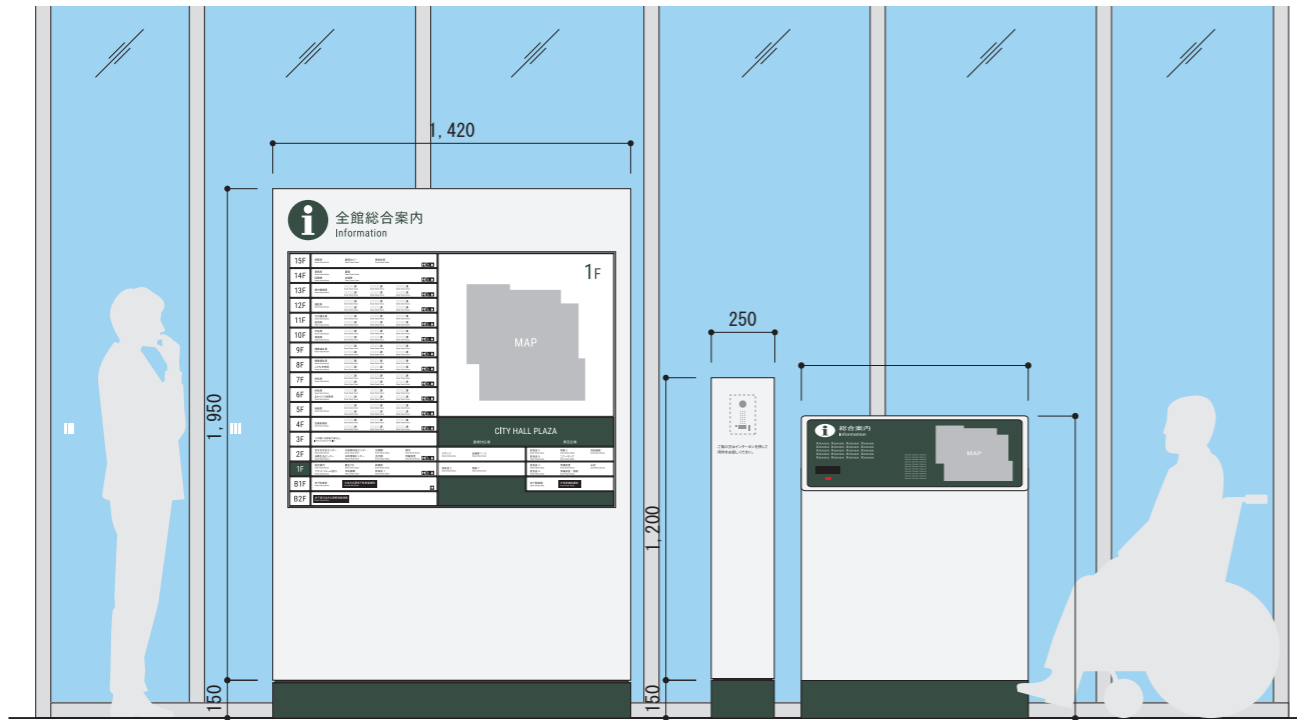


9. サイン計画

9-3 屋内サイン

■風除室周辺

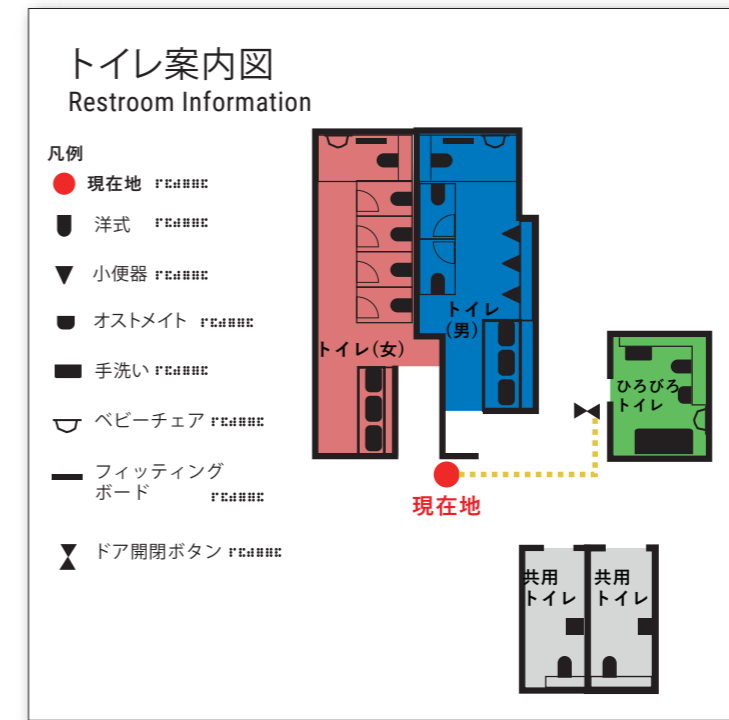
- ・利用者の出入口となる北・南風除室付近には総合案内板を設置し、利用者にとって分かりやすい案内表示を行います。
- ・北・南風除室内にはインターホンおよび触知案内板を設置し、利用者の誰もが安心して目的地にたどり着くことの出来る計画とします。



北側風除室内イメージ

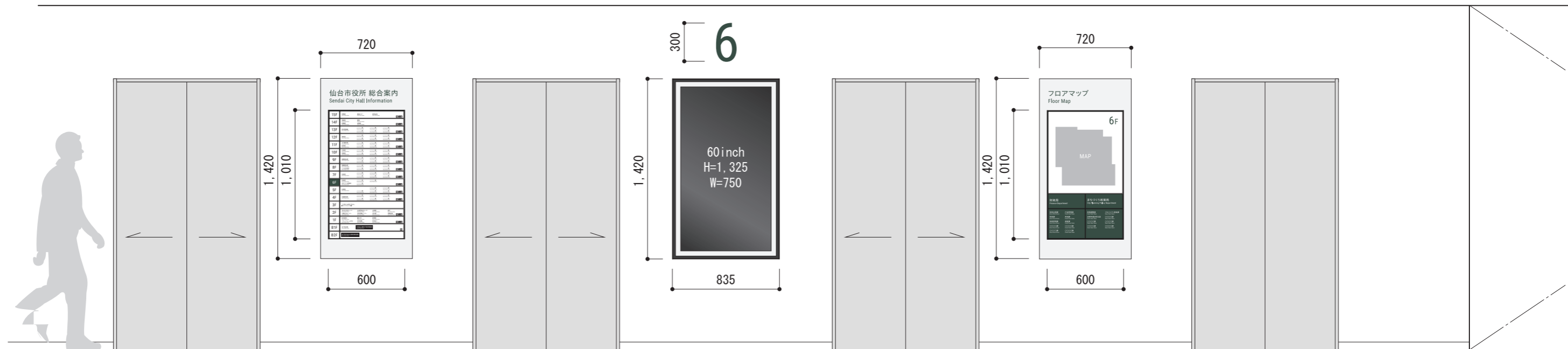
■トイレ

- ・トイレに用いられるサインは、男性用を青色、女性用を赤色、ひろびろトイレを緑色、共用トイレを黒色(グレー)で統一し、視認性に優れたサイン計画とします。



1階トイレ触知案内イメージ

■エレベーター前



S=1/40

9. サイン計画

9-4 アイキャッチ

・街のシンボルとなる市章

外壁面に「大型サイネージ」を設置し、市民に愛されてきたデジタル時計や様々な情報を発信するとともに、都市のランドマークにふさわしい、誰もが見てわかるアイキャッチとなる“市章”を屋上頂部に設置します。また照明を設置しライトアップ可能な設えとすることで、夜間での視認性に優れた計画とします。



・随時更新される情報をまちへと発信するデジタルサイネージ



・まちの魅力を発信する屋根付広場の大型スクリーン

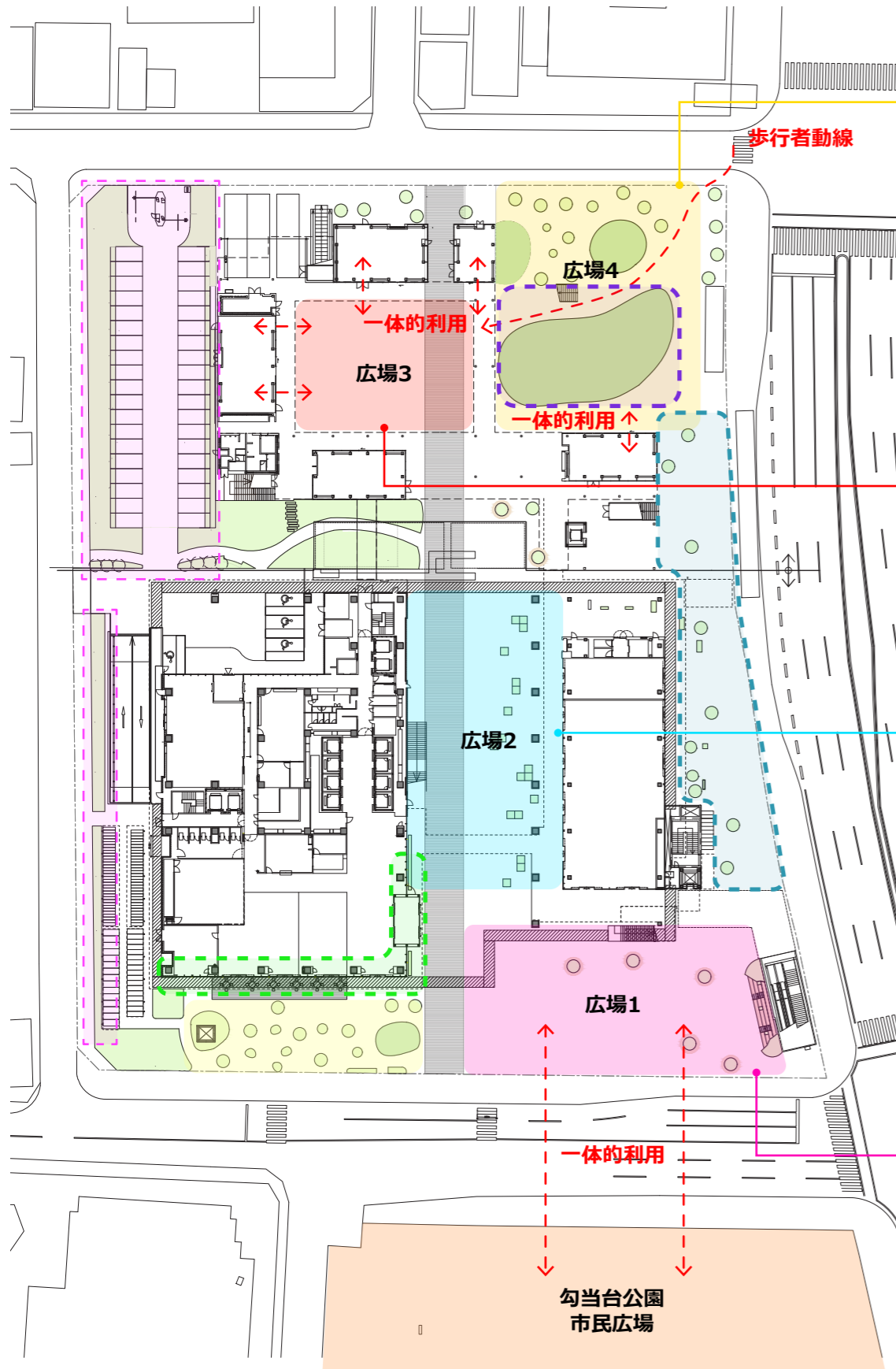


10. 外構計画

10. 外構コンセプト

様々な活動が連鎖する4つの広場

・新本庁舎の足元には4つの性格の異なる広場が連なります。それぞれ独立して利用したり、一体利用したり場面に応じてフレキシブルに活用できる広場は、仙台市の多彩な市民活動・イベントの舞台となり、日常的にも市民の憩いの場になります。



低層棟の玄関口としての広場

北東角には低層棟の玄関口として交差点に開かれた広場を設けます。散策できる緑地帯を設けるなど、市民の日常に寄り添った設えとします。

低層棟に囲われた青空の広場

市民協働ゾーンと連携しながらさまざまな屋外イベントが可能となるだけでなく、増築などの将来的な可能性の余地を残した計画です。

天候に左右されない屋根付広場

高層棟低層部の中央には、雨天や夏の強い日差しから守られた天候に左右されない屋根付広場を設けます。日常的な活動を受け入れるだけでなく、支援物資の一時受け入れなど災害時にも機能します。2層吹き抜けのダイナミックな空間はトップライトから自然光が入り滞留空間を穏やかに演出します。

市民広場と一体的に連続する広場

南東角には勾当台公園市民広場と一体的に連続する広場を設けます。また東側には滞留空間を設け、ケヤキ並木と一体となって、「杜の都」仙台を象徴する新本庁舎の顔となります。

※外構図はイメージであり、植栽の配置等は変更する場合があります。

緑と花のサービスヤード

西側は駐車場・駐輪場などの交通機関やサービス動線が集中するエリアには緑地帯を整備し、隣接する歩行空間に緑の色どりを加えます。南西角にはビル風対策として防風林を配置します。

芝生広場

北東側広場には中央に芝生のある緑地帯を整備します。市民が気軽に憩うことのできる、高木やベンチを合わせて整備することで、緑蔭のある落ち着いた緑の空間とします。



ケヤキシルエット

南東の街路にはケヤキを配置し、人々を迎え入れる見通しのよい並木を形成するとともに舗装材の切り替えにより滞留空間と動線を緩やかに分節する計画とします。東側のゾーンには低木の植栽に囲まれた連続するベンチを設け、イベント時や日常時等広く市民が緑を感じることが出来る場とします。

緑のペDESTリアンデッキ

中央のイベント広場や2階のみちには可動プランターを設置し、日常的に緑を楽しむ場となりながら、フレキシビリティにも配慮した計画とします。また、2階レベルを巡るみちの手摺に沿ってプランターを設置し、立体的にも緑が楽しめる計画とします。



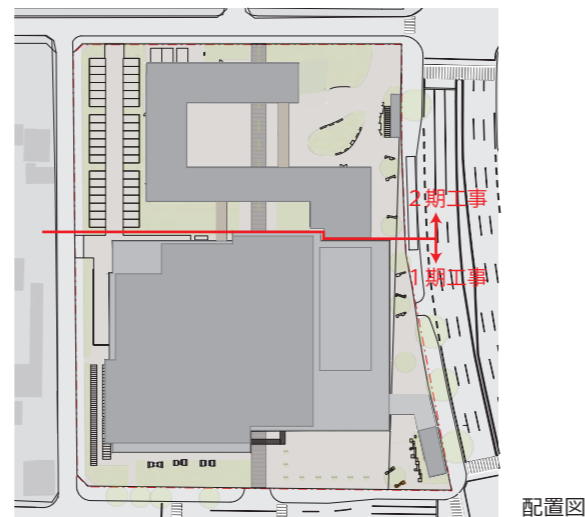
11. 構造計画

11-1. 構造概要

東日本大震災から続く余震や将来発生し得る巨大地震に対し、建物の損傷を軽微に留めることにより市庁舎機能を維持し、業務が継続できる高い耐震性能を有する施設を目標とします。加えて市庁舎として求められる機能性や快適性を満足する空間の実現及び経済性や耐久性、施工性を十分に考慮します。

1期の高層棟は、安心・安全で、かつフレキシブルな機能性を実現できる「免震構造」とし、2期の低層建物には重要度係数を考慮した「耐震構造」とすることで耐震性を高めて長寿命化を図ります。

【1期】	
階数	地下2階、地上15階
構造種別	免震層上部（1階～15階）：鉄骨造（一部CFT柱） 免震層下部：鉄筋コンクリート造（一部SRC）
構造形式	免震構造（中間層免震、1階床下） 免震層上部（1階～15階）：ブレース付きラーメン構造 + 制振ブレース 免震層下部（地下1階）：耐震壁付きラーメン構造
基礎形式	直接基礎（ベタ基礎、マットスラブ）
【2期】	
階数	地上2階、地下1階
構造種別	地上階（1階～2階）：鉄骨造+木造（CLT壁） 地下階：鉄筋コンクリート造
構造形式	耐震構造
基礎形式	直接基礎（ベタ基礎、布基礎）、一部地盤改良



11-2. 耐震安全性の目標

本建物の「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和3年版）」に基づき、下記の耐震安全性を満足する計画とします。

1期の高層棟：耐震性能Ⅰ類相当以上（下表青塗り部）

高層棟は、災害時における防災拠点としての市庁舎機能の維持が求められており、国の重要施設となる官庁施設において耐震性能Ⅰ類（重要度係数 I=1.5）の耐震安全性を満足することが目標とされています。本棟には免震構造を採用し、下記の耐震性能Ⅰ類相当以上の耐震安全性を有する計画とします。

2期の低層建物：耐震性能Ⅱ類（下表緑塗り部）

低層建物は、多数の者が利用する施設であるため、耐震性能Ⅱ類（重要度係数 I=1.25）を有する計画とします。

【耐震安全性の目標】

施設の使用用途	対象施設	耐震安全性の目標		
		構造体	建築非構造部材	建築設備
災害対策の指揮、情報伝達のための施設	指定行政機関入居施設 指定地方行政ブロック機関入居施設 東京圏、名古屋圏、大阪圏及び地震防災対策強化地域にある指定地方行政機関入居施設	Ⅰ類	A類	甲類
	指定地方行政機関のうち上記以外のもの及びこれに準ずる機能を有する機関入居施設	Ⅱ類		

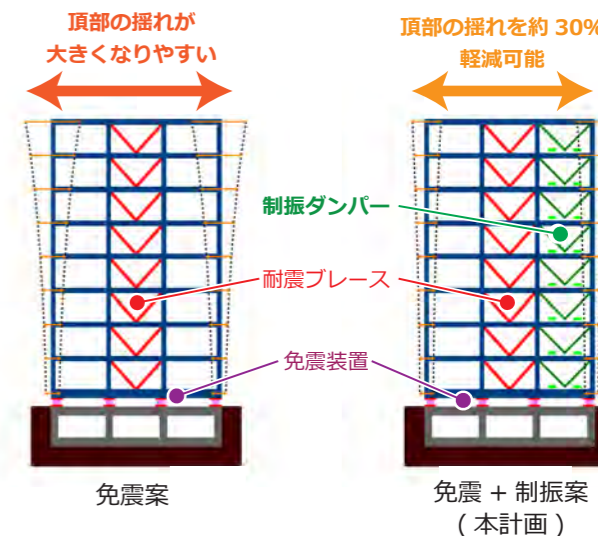
【重要度係数】

部位	分類	耐震安全の目標	重要度係数
構造体（重要度係数）	Ⅰ類	大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。	1.50
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られている。	1.25
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。	1.00

11-3. 構造架構形式

免震 + 制振ハイブリッド構造の採用

- 1期の高層棟には、「免震構造」により大地震時における入力地震動を大幅に低減します。さらに上層階の長時間に亘る揺れを早期に減衰させるため、「制振装置」を組み合わせ、安心・安全かつ家具等の転倒や天井等の落下による被害を抑えます。
- 2期工事となる北側の建物は、庁舎構造とは分離して計画します。それぞれ独立した構造とすることで、将来の増減築にフレキシブルに対応できます。



免震 + 制振ハイブリッド構造 概要パース

